

産業構造審議会化学・バイオ部会地球温暖化防止対策小委員会
中央環境審議会地球環境部会フロン類等対策小委員会
合同会議の開催について

平成23年7月19日
経済産業省
環境省

1. 開催趣旨

- 高い温室効果を有する代替フロン等3ガス（HFC、PFC、SF₆）に関しては、かつて主要な排出源であった産業分野（ガス製造、半導体製造等）の削減対策が進行する一方、冷凍空調機器に使用される冷媒が、オゾン層破壊物質（CFC、HCFC）からHFCへ転換が進行することに伴い、新たな対策がなければ今後排出量は大幅増加となる見込みである。
- フロン回収・破壊法等に基づく業務用冷凍空調機器の廃棄時冷媒回収率は約3割にとどまっている。また、機器使用時の冷媒排出が従来の想定を大幅に上回ることが判明している。
- こうした状況を踏まえ、経済産業省では昨年4月より産業構造審議会化学・バイオ部会地球温暖化防止対策小委員会において、環境省では昨年7月より中央環境審議会地球環境部会フロン類等対策小委員会において、フロン類等の排出抑制に向けた対策について検討を進めてきたところである。
- 今般、両小委員会において中間的な整理が示されたことを踏まえ、両省連携の下で更なる対策の検討を図るため、両小委員会の合同会議を開催する。

2. 検討内容

- 産業構造審議会化学・バイオ部会地球温暖化防止対策小委員会の中間論点整理及び中央環境審議会地球環境部会フロン類等対策小委員会の中間整理を踏まえ、冷凍空調機器の冷媒対策を中心として、フロン類等の排出抑制に向けた対策の更なる検討を行う。

3. スケジュール

平成23年7月19日 第1回合同会議

- ・ 合同会議の開催について
- ・ 産業構造審議会化学・バイオ部会地球温暖化防止対策小委員会の中間論点整理及び中央環境審議会地球環境部会フロン類等対策小委員会の中間整理について
- ・ 東日本大震災の被災地におけるフロン回収の取組について

※以降、現在進行中のプロジェクトや必要な事業・調査等を着実に実行するとともに、合同会議を適宜開催。